

大平地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年1月15日（水）午後2時0分～2時30分

開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

事例数： 1 ケース

参加者数： 11名

事例提供者1名、助言者7名、サービス事業者1名

包括職員2名、傍聴者0名

・複数の疾患を患い、生活意欲が低下している87歳男性

〈目標〉1日：自分で出来ることは自分で行う。

1年：体調を整えながら、安全に生活出来る。

利用サービス：訪問介護

《生活全般の解決すべき課題》

- ・慢性腎不全をコントロールするために、定期通院や食事管理の継続が必要である。
- ・体力や筋力の低下により歩行バランスが不安定になることが増え、転倒の危険性がある。
- ・不安神経症による生活意欲の低下がある。

《助言者からの助言内容》

- ・複数の疾病を患い、今後透析による身体状況の変化も予測されるため、デイサービスやショートステイを利用出来るとよい。
- ・透析によるタンパク質制限により唾液腺萎縮から唾液量が減少しやすく、基本チェックリストでは『唾液の減少』や『固い物が食べにくい』が該当している。口腔ケアの継続や食事前の首回し、肩の上げ下げ、口腔体操を勧める。
- ・透析時に血圧管理されているが、心配な場合は毎日の血圧値を記録し、主治医に診てもらうとよい。
- ・外出意欲がない場合は、下肢筋力を維持するために訪問リハビリを利用するとよい。通所サービスも短期集中型は利用しやすい。
- ・本人の残存機能を維持するために掃除や洗濯等の家事は、休息しながら自分でできる環境を整えていけるとよい。
- ・透析による食事制限やカロリー調整が必要であるため、毎食の食事記録が出来るとよく、デイサービスを利用することで食事管理がしやすくなる。
- ・麻雀に関心があるため、麻雀が出来る集いの場やデイサービスを利用するとよい。外出出来ない場合は、パソコンが使用できるため、オンライン麻雀でもよい。



体調管理や出来る家事を継続し、趣味活動等楽しみを持てるような生活が出来るように支援する。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

本人が生きがいを持てるように、集いの場や仲間作りを支援する必要がある。